

UDC 771.36

B 7091

JIS

カ メ ラ 用 シ ャ ッ タ

JIS B 7091 -1992

(2003 確認)

(2008 確認)

平成 4 年 12 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和46.3.1 改正：平成4.12.1

官報公示：平成4.12.14

原案作成協力者：日本写真機工業会

審議部会：日本工業標準調査会 精密機械部会（部会長 述内 順平）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部機械規格課（〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

日本工業規格

JIS
B 7091 : 1992

カメラ用シャッター

正 誤 票

区分	位 置	誤	正
本体	図 6	C:電解コンデンサ (400 μ F \pm 20 %, 10~16 V)	C:電解コンデンサ (4 000 μ F \pm 20 %, 10~16 V)

平成 19 年 1 月 5 日作成

日本工業規格

JIS

カメラ用シャッタ

B 7091-1992

正誤票

ページ	位置	誤	正
8	下から5行目	…乗余対数で表す。	…常用対数で表す。

備考1. この正誤票は、第1刷に対するものです。

2. この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部機械規格課 (〒100 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) へ連絡してください。

1993.4 日本規格協会 発行

カメラ用シャッター B 7091-1992

Shutters for still cameras

1. 適用範囲 この規格は、写真撮影用のカメラに使用するシャッター機構(以下、シャッターという。)について規定する。

- 備考1. この規格は、レンズとともにカメラに装着された実際の使用状態におけるシャッターについて適用する。
2. シャッター性能は、カメラの価格と密接な関係にあり、許容差を規定する場合、カメラの特徴及び性能・価格に応じて適用されるのが望ましい。したがって、この規格に定める許容差はシャッター性能の全般的な検査規格として規定するものではなく、撮影者に良好な撮影結果を与えるためのシャッター性能に対する目標値を設定するものである。
 3. カメラに装着しない状態のシャッターについては、この規格で適用できる項目を適用する。
 4. この規格の引用規格を、次に示す。
 - JIS B 7115 カメラの画面寸法
 - JIS C 1302 絶縁抵抗計(電池式)
 - JIS C 7520 写真用せん光電球
 - JIS K 7604 スチル写真用連続階調黒白ネガティブフィルムのISOスピードの求め方
 5. この規格の対応国際規格を、次に示す。
 - ISO 516 : 1986 Photography—Camera shutters—Timing

2. 用語の定義 この規格で用いる主な用語の定義は、次による。

- (1) レンズシャッター カメラの画面全体を同時に、又はほぼ同時に露出する形式のシャッター。通常、レンズの近傍⁽¹⁾にあるシャッターがこれに属し、回転円板、スライド羽根などによって露出を行う。

注⁽¹⁾ レンズ系の前部、後部又は中間。
- (2) フォーカルプレキシャッター カメラの画面を逐次露出する形式のシャッター。通常、焦点面の近傍にあるシャッターがこれに属し、長方形、扇形などのスリットによって露出を行う。
- (3) 全露出時間(t_0) 画面上のある1点が露出され始めてから露出が終わるまでの時間。

レンズシャッターでは、羽根が開き始めてから閉じ終わるまでの時間で、全画面にわたって等しいか又はほぼ等しい。

フォーカルプレキシャッターについての全露出時間は、式(1)で求める(図1参照)。

$$t_0 = \frac{w + \frac{d_s}{A}}{v} \dots\dots\dots (1)$$

ここに、 t_0 ：全露出時間(フォーカルプレキシャッター)(s)

w ：その点におけるシャッタースリットの幅(mm)

v ：その点におけるシャッタースリットの走行速度(mm/s)

d_s ：画面上からシャッタースリットの走行面までの平均距離(mm)

A ：レンズのFナンバー